

略歴書

國生 剛治（こくしょう たかじ）

中央大学理工学部 教授、工学博士、技術士（建設部門）

1944 年生まれ（66 歳）

【専攻分野】地盤防災工学、地震工学

【本会活動】

理事（事業企画委員会担当）：2003 年 6 月～2005 年 5 月



【略歴】

1969 年 東京大学 工学系研究科 土木工学専攻修了

1969 年 財電力中央研究所入所

1988年 同 立地部長

1995年 同 参事

1996年 中央大学理工学部教授 現在に至る。

【受賞】

土木学会 論文賞（2004 年）

【委員等】

- ・ 国際地盤工学会第 4 技術委員会委員長（2006 年～2009 年）
- ・ 国際地盤工学会アジア地域自然災害委員会委員長（1998 年～2005 年）
- ・ 地盤工学会副会長（2002 年～2003 年）

【著書および主要論文】

- ・ 「液状化現象」鹿島出版 2009.
- ・ 國生剛治, 石澤友浩: 地震時斜面崩壊における土塊流動距離のエネルギー的評価と実崩壊例への適用, 日本地すべり学会誌 47 卷 3 号 (5 月), 121-128, 2010.
- ・ Kokusho, T., Ishizawa, T. and Nishida, K.: Travel distance of failed slopes during 2004 Chuetsu earthquake and its evaluation in terms of energy, *Soil Dynamics & Earthquake Engineering, Elsevier*, 29, 1159-1169, 2009.
- ・ 國生剛治, 佐藤克晴, 長尾晋悟, KiK-net 地震記録を用いた基盤から地表への震動増幅評価法, 日本地震工学会論文集（電子ジャーナル）第 8 卷、第 2 号、2008.

【所信】（100～300 字程度）

- ・ 日ごろより地震に関する種々の情報交換の場として、地震工学会を大変活用させていただき、地震に対する社会安全性を増すために学際的取り組みをする本学会の大きな存在意義を感じております。したがって、もし多数の方が小生に会長業務をやれと言われるなら、これまでお世話になったお返しをするためにも引き受ける義務があると思います。その際には、各専門分野の融合をさらに図り、より学際的な成果が上げられる学会に向けて微力を傾けるつもりです。

以上